

第85回 国際獣疫事務局(OIE)総会の 概要

平成29年6月29日

農林水産省 消費・安全局

本日の内容

- I 開催概要
- II ラボラトリー委員会
- III 科学委員会
- IV コード委員会
- V その他

I 開催概要

1. 日程：平成29年5月21日（日）～26日（金）

2. 場所：フランス・パリ

3. 出席者：

農林水産省 消費・安全局

動物衛生課 国際衛生対策室長（OIE日本代表）

畜水産安全管理課調査官

食品安全政策課課長補佐

他

スケジュール

21日(日)	22日(月)	22日(火)	24日(水)	25日(木)	26日(金)
(10:00-14:30) 登録	(9:00-10:30) •議事決定 •昨年の活動報告	(9:00-10:30) ラボ委員会 ※マニュアル改正案の採決、レファレンスラボラトリーの指定	(9:00-12:30) コード委員会 ※コード改正案の採決	(9:00-11:30) •世界の動物衛生状況に関する最近の発生及び傾向	(9:00-13:00) 行政会合 •監査報告、予算 •理事会、事務局報告
	(11:00-12:30) 技術議題: 薬剤耐性の脅威軽減のための国際活動:「ワンヘルス」の下での今後の活動に向けた進捗と機会	(11:00-11:45) 技術議題: 官民連携:国際動物衛生と畜産開発計画に関する民間連携への期待		(12:00-13:00) (技術的)決議案の提示	
(14:30-19:00) 開会式・記者ブリーフィング	(14:00-18:30) 各地域委員会	(11:45-13:15) 国際機関によるプレゼン	(12:30-13:00) 国際機関によるプレゼン	(14:30-18:00) •決議案の提示 •地域委員会報告 •次回総会予定 •ステータス認定書の授与	(15:30-17:30) •決議の採択及び総会報告書の議論 •閉会式
		(14:45-18:00) 科学委員会 ※公式疾病ステータス認定案の採決	(14:30-16:15) コード委員会 ※コード改正案の採決		
		(18:00-18:30) 世界会議のフォローアップ	(16:45-18:15) 水生動物委員会 ※コード・マニュアル改正案の採決		
	(18:30-19:00) OIEアニマルウェルフェア世界戦略				

会議の様子



Ⅱ ラボラトリー委員会

OIEレファレンスラボラトリーの認定

○世界全体で9施設を新たに指定。

○アジア太平洋地域では、台湾及び中国の2施設を豚コレラのレファレンスラボラトリーとして指定。

また、豪州及びNZの施設を診断のバリデーションに係るコラボレーティングセンターとして指定。

○ISO17025未取得又は年次報告の提出がないラボは、2年間の資格停止期間を経て指定リストから削除する方針が示された。

(参考)

- レファレンスラボラトリーは、動物疾病の診断及び診断方法に関するOIE及び加盟国に対する助言、診断に利用する標準株・診断試薬の保管等を行っている。
- コラボレーティングセンターは、動物疾病にかかる特定の領域について専門性を持ち、広汎な問題への対処を行う。当該領域について、コラボレーティングセンターは世界にその専門能力を提供しなければならない。

Ⅲ 科学委员会

BSEほか動物疾病ステータスの公式認定

・BSEの公式ステータス認定の廃止に係る検討の提案

日本やEU、米国等から慎重意見が相次ぎ、科学委はそれらを受け止めつつ今後の検討を行うと回答。

BSEほか動物疾病ステータスの公式認定

1. 牛海綿状脳症 (BSE)

無視できるリスクの国: ポーランド

無視できるリスクの地域: 英国の2地域

(北アイルランド、スコットランド)

2. 口蹄疫

ワクチン非接種清浄地域: ボツワナの一部地域

ワクチン接種清浄国: パラグアイ

ワクチン接種清浄地域: 台湾の金門島を除く地域

カザフスタンのワクチン非接種清浄地域を

除く全域 (5地域に分割認定)

公式管理プログラムの承認: ボリビアとエクアドルを削除

BSEほか動物疾病ステータスの公式認定

3. 豚コレラ

清浄国: パラグアイ、ルーマニア

清浄地域: コロンビアの一部地域

4. 牛肺疫

清浄国: ブラジル、南アフリカ

5. アフリカ馬疫(清浄国): なし

6. 小反芻獣疫(清浄国): ボツワナ

IV コード委員会

主な陸生動物コードの改正

○第15.1章(アフリカ豚コレラ)

・中国及び韓国は、今般の改正に野生動物で本病の感染が確認されても家畜との隔離が適正に行われていること等が遵守されていれば豚肉は安全に貿易できる旨の記述が含まれていることに強く反対したが、今後の検討を両国を含めて行うこととして案のとおり採決。

○第15.X章(PRRS)

・生鮮肉の輸入の際の推奨条件が追加されたことに対し、豪州が肉にはリンパ節が含まれるため現行案ではリスクに対処できないとして反対し、アフリカ、アルゼンチン、ニューカレドニアがこれを支持したが、案のとおり採決。

V その他

技術課題 I

(テーマ)

「薬剤耐性菌の脅威を低減するための国際行動: ワンヘルスの下でのこれまでの進捗と今後の行動機会」

・モロッコのフォーカル・ポイントより、アンケートのすべての項目(①認知度及び理解の向上、②認識の強化、③ガバナンス・キャパシティビルディング、④国際基準の実施奨励)で2015年からの改善が見られたことが報告された。

・また、我が国の意見も踏まえた以下の勧告を採択。
加盟国は、①リスクアナリシスがなされない場合の成長促進目的での抗菌剤使用の段階的廃止を含め、抗菌剤の慎重使用につきWTO国際行動計画に基づく約束を履行、②抗菌剤の使用量を毎年OIEに提出。OIEは、①抗菌剤がなくても済むようワクチン開発等を奨励、②獣医療上必要な抗菌剤の見直し、③継続教育の強化に貢献。

アジア・極東・オセアニア地域委員会会合

1. 第30回アジア・極東・オセアニア地域総会の技術課題Ⅱ
「**Surveillance and risk mitigation measures for illegal and unregulated movement of animals across borders or through markets**」が選出。

(2017年マレーシアで開催予定)

2. 第87回OIE総会技術課題Ⅰ
「**One Health approaches to surveillance and effective animal movement control to prevent the spread of transboundary animal diseases and zoonoses**」が選出。

アジア・極東・オセアニア地域委員会会合

3. OIE総会における地域共同提案の調整手続き

アジア太平洋地域共同の提案・意見を発言するための手続き(2か国以上が支持していることが最低条件)が事務局から示され、全会一致で採択。次回から適用されることとなった。

4. 理事、地域委員会役員補欠選挙

以下のとおり候補を選出 (最終日の運営会合にて承認)

OIE理事 Dr. Sen Sovann(カンボジア)

地域委員会副議長 Dr. Tashi Samdup(ブータン)

伊藤和夫国際衛生対策室長(日本)

地域委員会事務局長 Dr. Him Hoo Yap(シンガポール)

各国代表による運営会合

1. 加盟国の追加承認

キュラソーが新たに承認され、OIE加盟国は181か国となった。

2. 新たな準地域事務所の承認

カザフスタンのアステナ事務所が、準地域事務所（口蹄疫調整ユニット）に格上げされた。

OIEアニマルウェルフェア世界戦略について

OIE 事務局から世界戦略の概要が報告された。

① 本戦略の柱は以下4点

(i) 基準の作成、(ii) キャパシティビルディングと教育、(iii) 政府、団体、獣医サービス、教育機関、一般市民とのコミュニケーション、(iv) 基準と政策の実施

② 今後の活動

(i) 研究者、活動者、生産者を集めた議論の場(フォーラム)を設置、(ii) 科学に基づく基準を作成、世界戦略の実施促進のため、地域戦略の作成・実施を促進・支援、(iii) 基準作成過程への加盟国の関与を支援。フォーカルポイントは国内活動を調整、(iv) アニマルウェルフェアの科学とその他の分野の科学(社会、環境、経済等)との関係を強化。

③ 日本の発言

日本は総会の場において、科学に基づいた効果的な防疫が唯一の解決策である家畜衛生と異なり、アニマルウェルフェアのガイダンスは、加盟国がそれぞれの状況に応じて実施できるフレキシビリティが重要であり、科学的根拠に加え、多様な加盟国の家畜の飼養実態や文化などの差異を踏まえた柔軟な基準を作成することが重要。OIEの戦略は、このような考え方に配慮した運用が望ましい旨発言。

(参考)第84回OIE総会にて決議された事項

OIE総会で決定された事項は、決議書として採決される。
また、総会の議論は報告書としてOIEのHPで公表される。

<http://www.oie.int/about-us/final-reports-of-the-general-session-of-the-oie-international-committee/>

【報告書】

- Report of Technical Session
- Report of Administrative Session

【決議書】

- Resolution of Technical Session
- Resolution of Administrative Session